

Ⅱ．調査結果

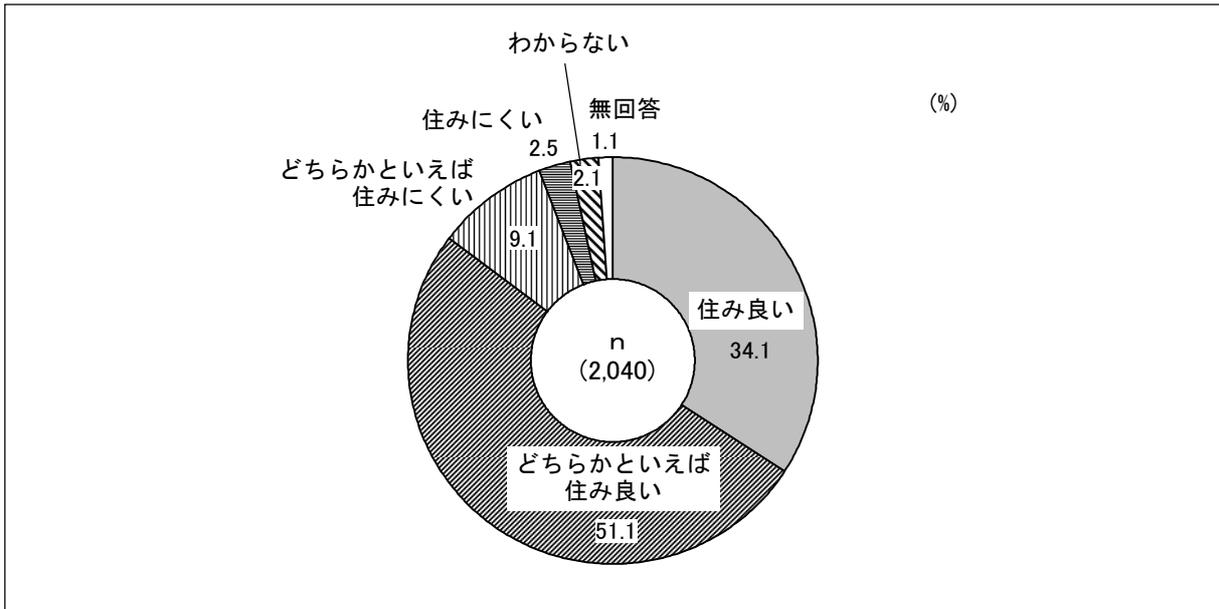
第1章

豊島区の印象について

第1章 豊島区の印象について

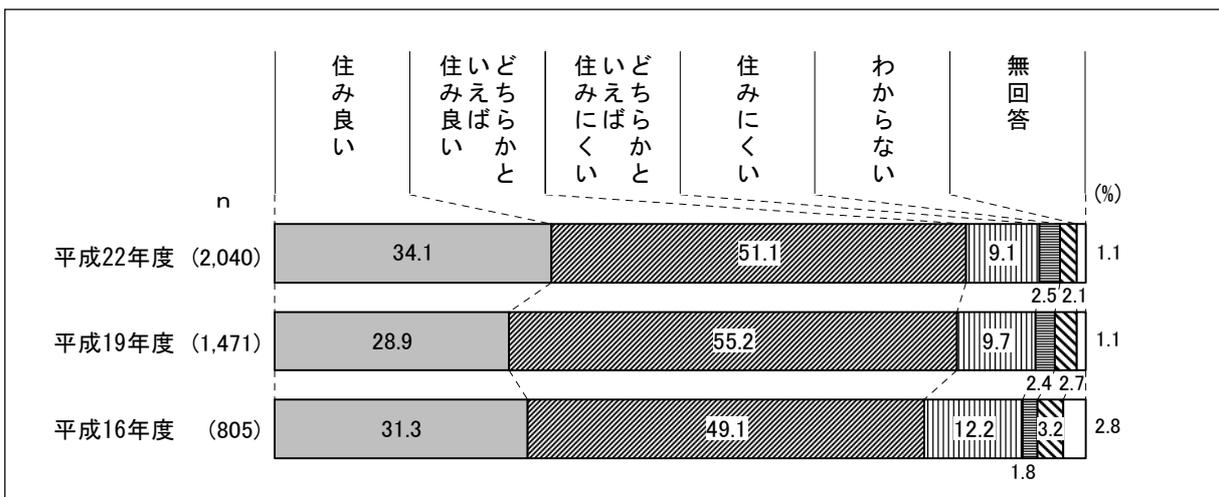
1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「どちらかといえば住み良い」(51.1%)が最も高く、「住み良い」(34.1%)と合わせた“住み良い”(85.2%)としてみると、8割台半ばとなっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(9.1%)と「住みにくい」(2.5%)を合わせた“住みにくい”(11.6%)としてみると、1割を超える程度となっている。



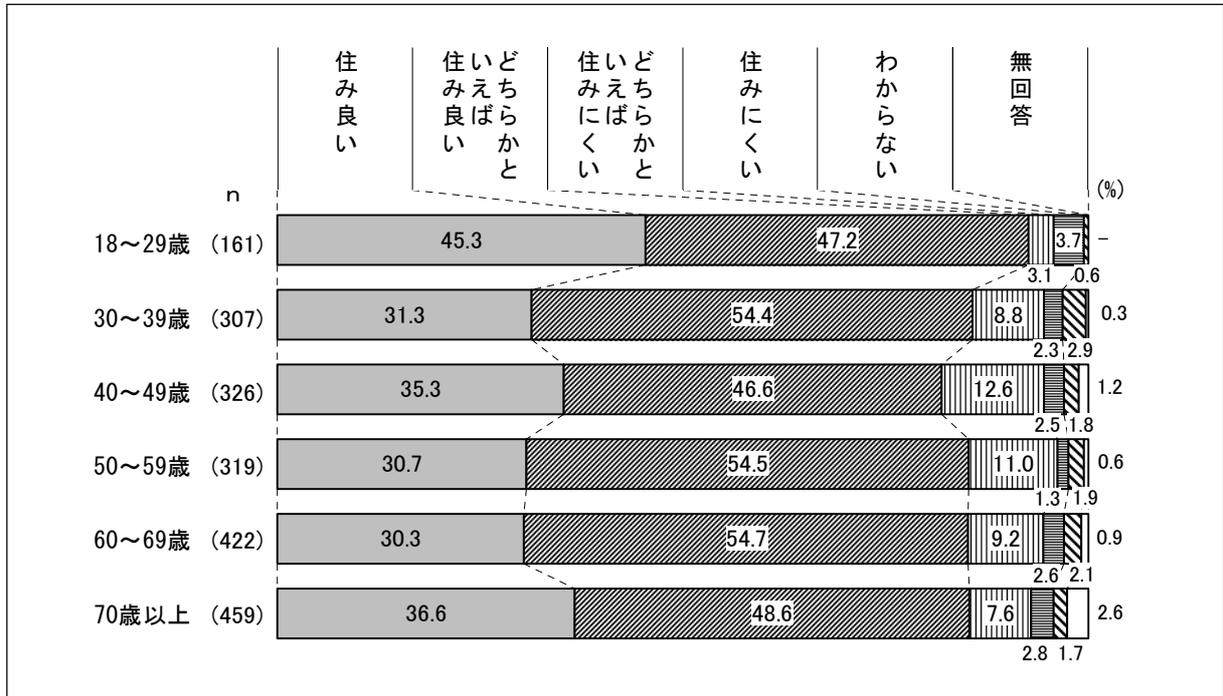
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み良い”は平成16年度調査から4.8ポイント高くなっている。



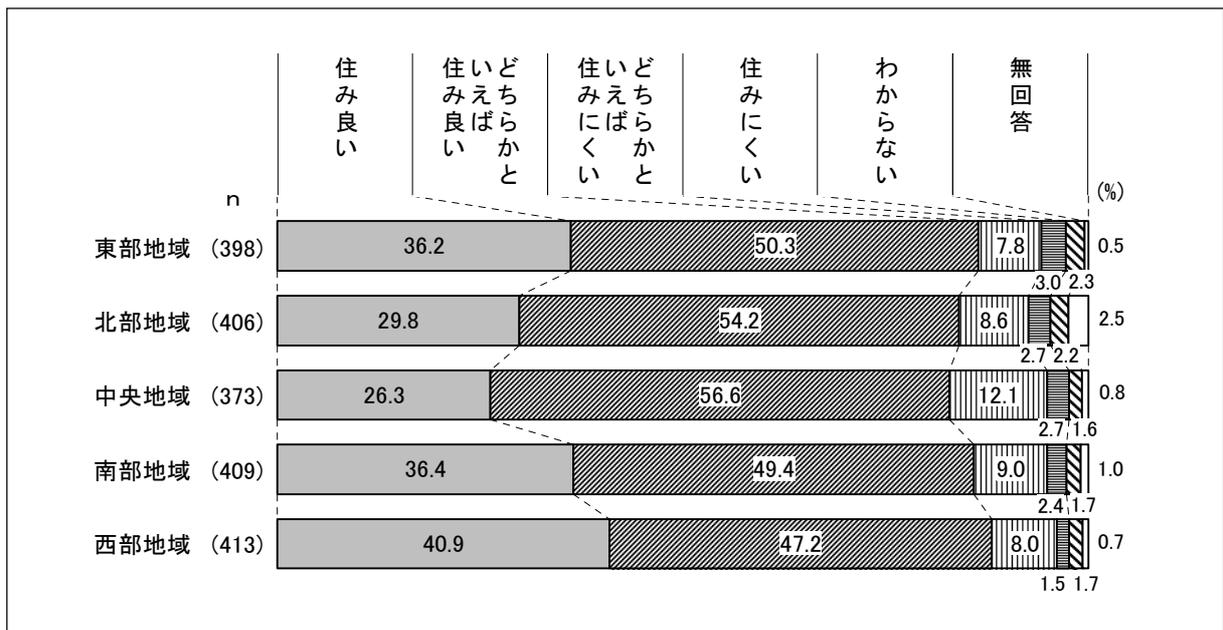
【年齢別】

- “住み良い” は18～29歳（92.5%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は40～49歳（15.1%）で1割台半ばとなっている。



【地域別】

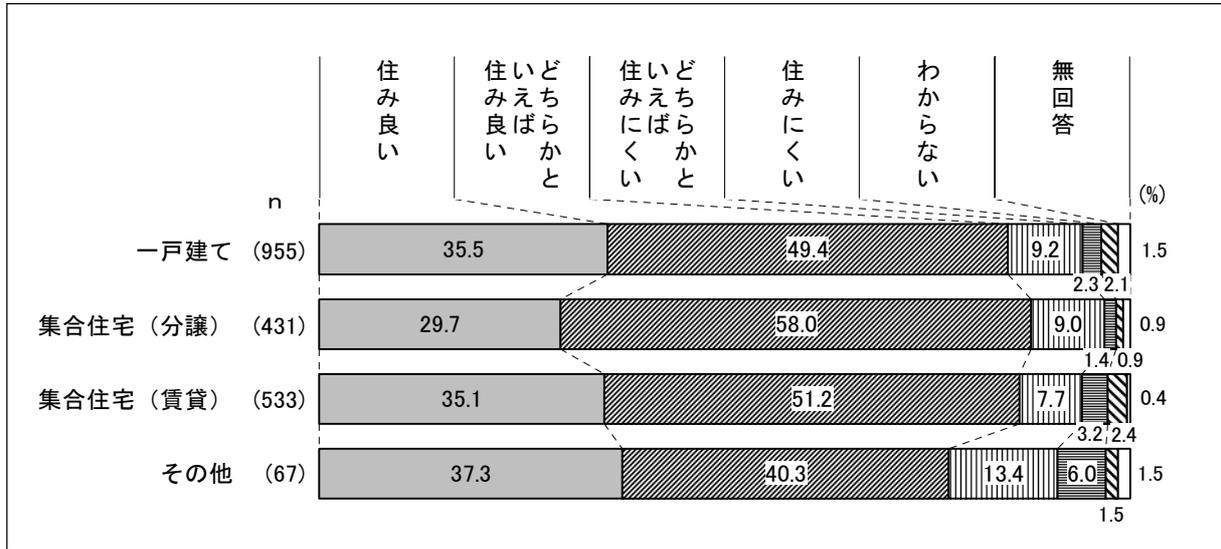
- “住み良い” は西部地域（88.1%）で約9割となっている。
- “住みにくい” は中央地域（14.8%）で1割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

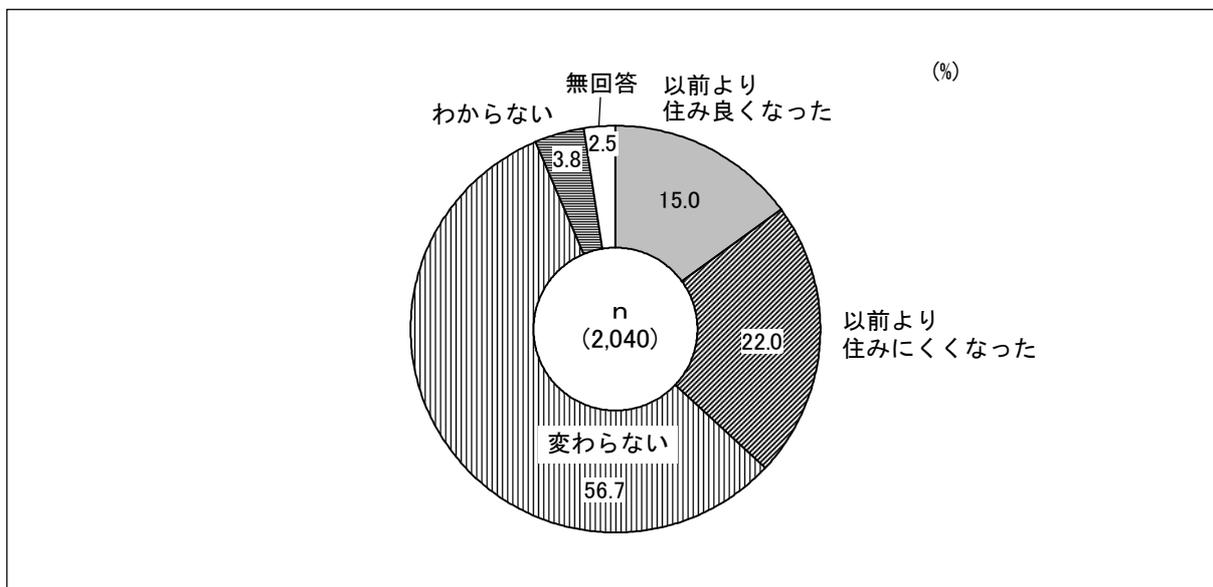
【住まい形態別】

- “住み良い” は集合住宅（分譲）（87.7%）と集合住宅（賃貸）（86.3%）で8割台半ばを超えている。



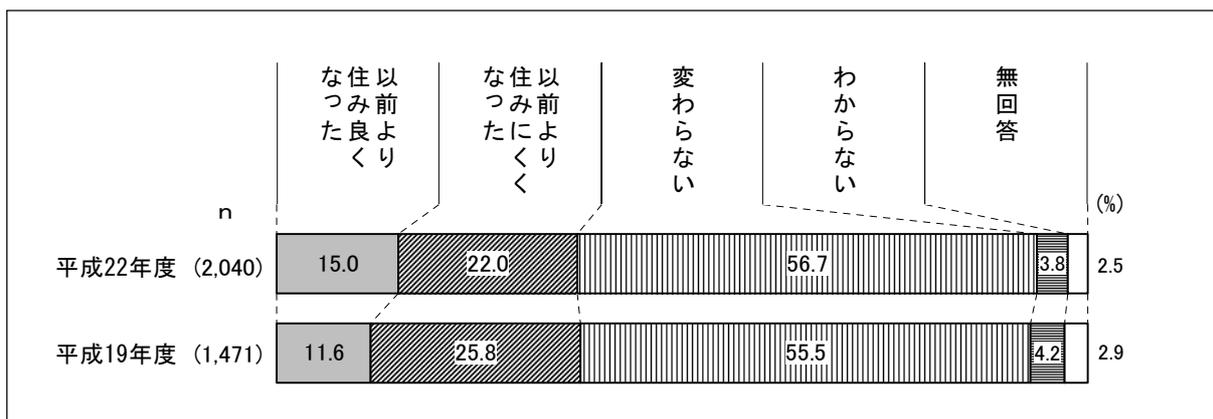
1-② 住み心地の変化〔問1-2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(56.7%)が5割台半ばを超えて最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」(22.0%)が「以前より住み良くなった」(15.0%)よりも7ポイント高くなっている。



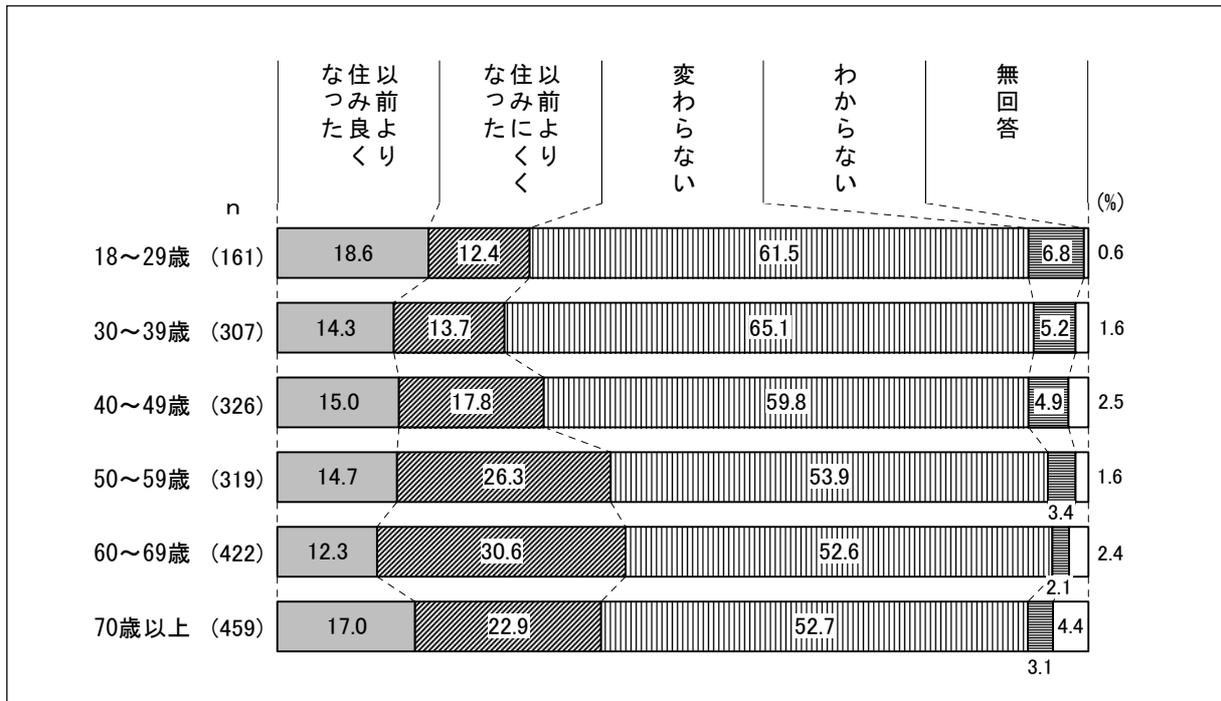
【経年比較】

- 前回の調査結果と比較すると、全ての項目で大きな違いはみられない。



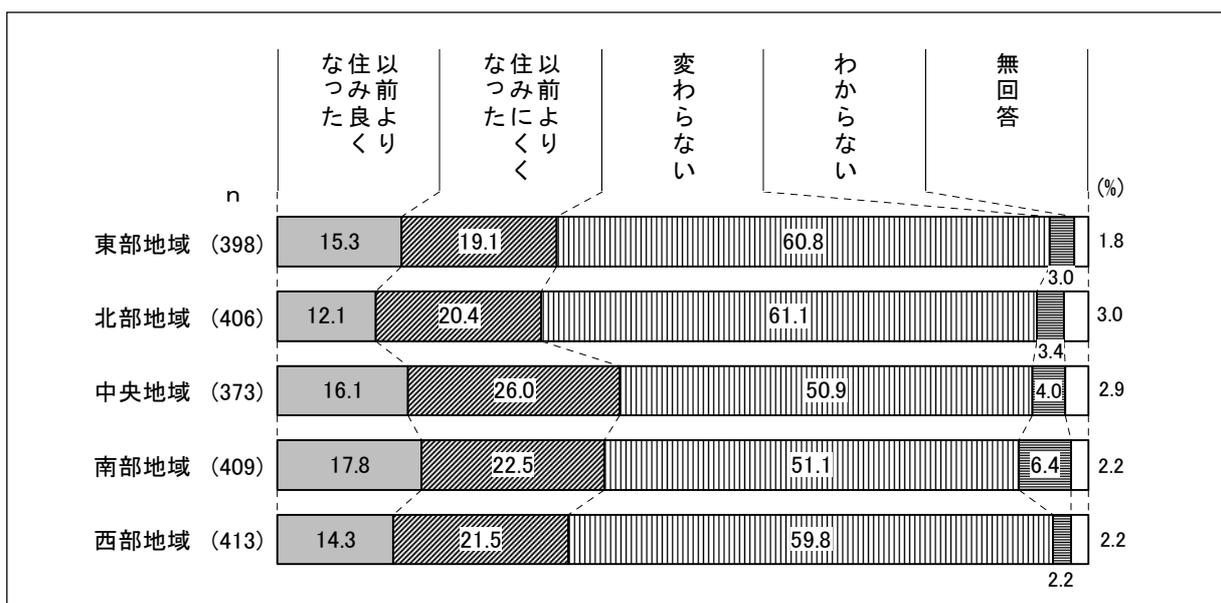
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は18～29歳（18.6%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は60～69歳（30.6%）で3割、50～59歳（26.3%）で2割台半ばとなっている。



【地域別】

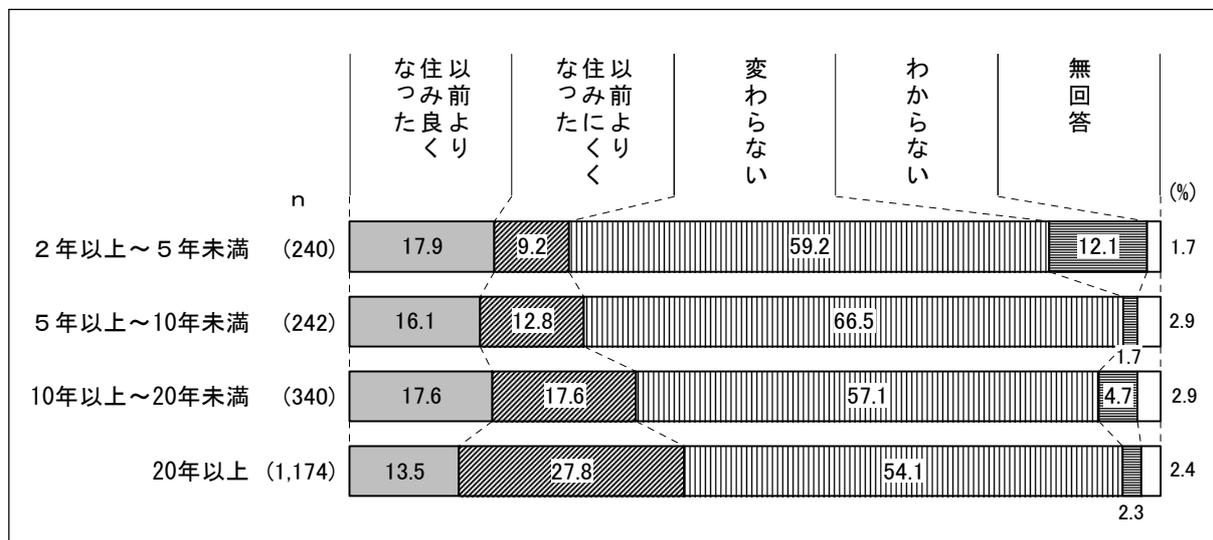
- 「以前より住み良くなった」は南部地域（17.8%）で最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は中央地域（26.0%）で2割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照

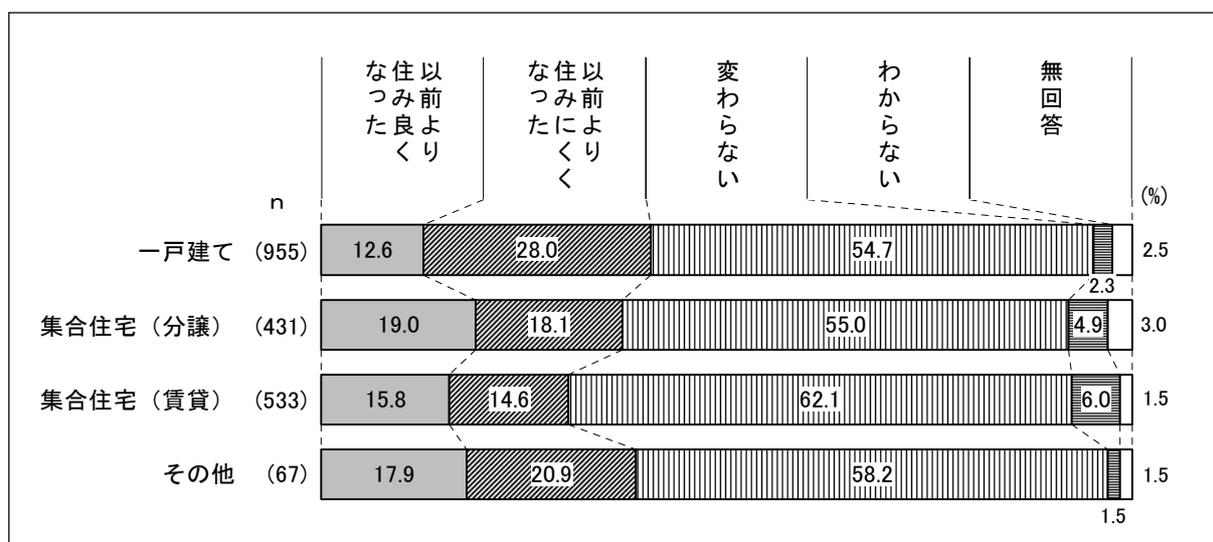
【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は2年以上～5年未満（17.9%）と10年以上～20年未満（17.6%）でほぼ同じ割合となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（27.8%）で最も高くなっている。



【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（19.0%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（28.0%）で約3割となっている。



1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕

〔問1-2〕で「以前よりも住みよくなった」「以前よりも住みにくくなった」と回答した人に、その理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前よりも住みよくなった主な理由】

区分	件数	主な意見
街づくり	133件	道路が整備された
		駅前などの放置自転車が少なくなった
		駅のバリアフリー化が進んだ
		歩道が整備された
		駅前・駅周辺がきれいになった
		公園ができた
		駅が改装された
		駅がきれいになった
		街がきれいになった
		大塚駅が改装されて南北通路ができた
		マンションが建設された
		駐輪場が整備された
		カラス、鳩、野良猫が減った
		再開発で景観がよくなった
		環境がよくなった
		池袋駅周辺の活性化
		防災公園ができた
		道路がきれいになった
		日当たりがよくなった
		街の整備が進んでいる
空き地に住宅ができた		
交通の便がよくなった	103件	地下鉄が開通した
		駅が近くなった
		バスの便がよくなった
		道路が整備された
		高速道路が完成した
		横断歩道・信号が増えた
		幹線道路の整備が終わり、交通機関も増えどこへ行くにも楽になった
		首都高速道路の入口、出口が近くにできた
買い物が便利になった	47件	近所にスーパーができた
		近所にコンビニができた
		様々な店が増えた
		巣鴨駅に駅ビルができた
		商店街が近くにある
		飲食店が増えた
		デパートの地下食品売場が便利になった
各種施設ができた	14件	図書館ができた
		スポーツクラブができた
		病院ができた

区 分	件 数	主 な 意 見
治安がよくなった	12件	昔の池袋の危険なイメージが少なくなり、夜も安心できるようになった
		10年位前は夜は外国人女性が多く立っていたので歩きにくい感じがしたが、今はよくなった
		悪質な業者や風俗めいた人が少なくなった
		南大塚は風俗店がなく、夜道も安心
		麻薬の売人らしい外国人や若者を見かけなくなった
		マンション荒らし等の犯罪がなくなった
		近くに大型スーパーができ、遅い時間でも明るいので安心感がある
		夜も通りが明るく犯罪が少ない
住居がよくなった	9件	住宅を建て替えた
		住宅がオール電化で安心して生活ができる
		都営住宅に入居できた
		部屋が広くなった
人間関係がよくなった	8件	近所の人との人間関係がよくなった
		会話、挨拶など人間関係がよくなった
騒音がなくなった	7件	静かで環境がよい
		大きな道路に面していないため、車の音が気にならなくなった
		家の前にあった印刷工場がなくなったため、業務用の車が来なくなり、機械の騒音がなくなった
		子どもが少なくなって静かになった
行政がよくなった	7件	区職員の対応がよくなった
		行政サービスがよくなった
		子育てサポートが素晴らしいと感じる
		シルバーパスを使い外出が楽しくなった

【以前よりも住みにくくなった主な理由】

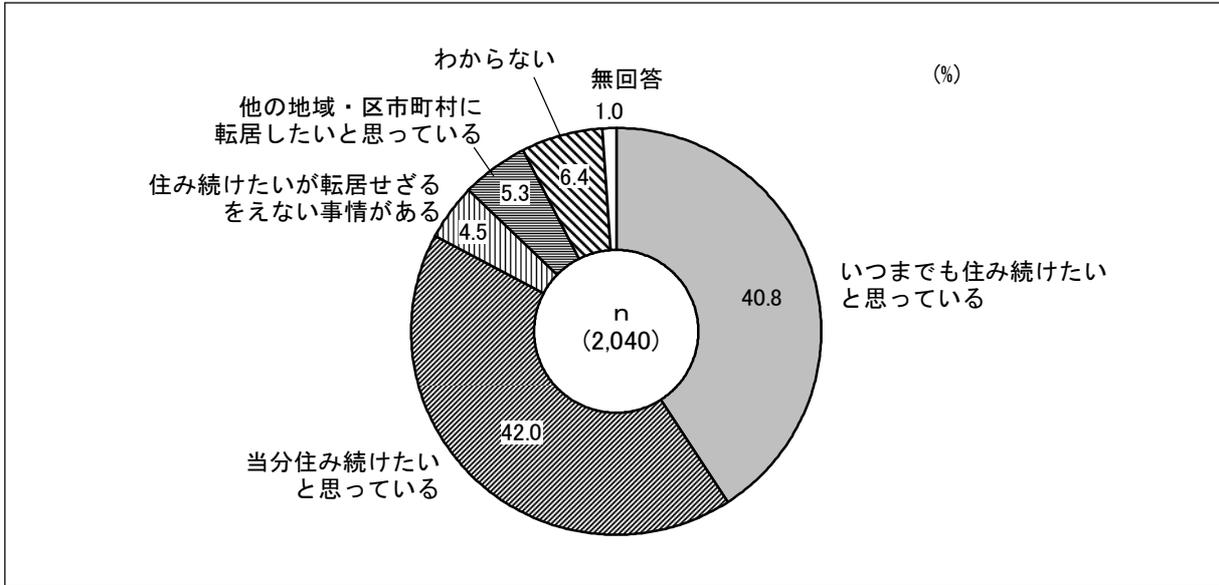
区 分	件 数	主 な 意 見
治安・マナー	187件	治安が悪くなった
		外国人が増えて不安
		マナーの悪い・ルールを守らない人が増えた
		ごみの回収日・収集場所・分別のルールを守らない人が増えた
		マンション・アパートの住民がごみ出しのルールを守らない
		自転車に乗っている人のマナーが悪い
		外国人が増え、騒音が多い
		野良猫が多く糞害に困っている
		ホームレスが多い
		マンション・アパートの住民の騒音が多い
		夜中の騒音が多い
		空き巣が多い
		飼い犬の鳴き声がうるさい
		防犯が心配
		飼い猫の糞害に困っている
		放置自転車がある
庭木の手入れをしない家がある		

区分	件数	主な意見
		路上看板があり歩きにくい タバコのポイ捨てがある ごみを漁る人がいる 住宅地の近くに風俗営業のホテルがある 飼い犬の糞を放置する人がいる
新しくマンションや住宅が建設され、住環境が悪化した	88件	マンションが増えた 日当たりが悪くなった 風害がひどくなった 土地が分割されて建売住宅が増えた 風通しが悪くなった 眺望が悪くなった 目の前や隣にマンションができた 静かな環境が失われた 景観が損なわれた マンション建設による騒音がある 住宅密集度が高くなった 家が建て込み防災上問題がある 高層建築が増えて圧迫感がある
コミュニティ・近隣関係	68件	近所付き合いが減った 新しいマンション・アパートにどんな人が住んでいるかわからない 知らない人が増えた 昔からの住民が減った 町会に入会する人が減った 地域に問題のある人がいる 人と人とのコミュニケーションがなくなっている 人に対する思いやりが少なくなった 若い家族が自己中心的・非協力的 子どもが大きくなり交流がなくなった 他人と関わらない人が増えた 挨拶をしない
近所に商店がなくなり買い物が不便になった	66件	個人商店が減った 商店街が衰退している 買い物が不便 近所にスーパーがない 近所にコンビニがない 日用品を買う店がない
交通	38件	交通量が増えた 駐輪場が少ない・利用料金が高い 駅から遠くなった 道路工事が終わらない 道路が完成し排気ガスが増えた 行き過ぎた放置自転車対策で自転車が使いづらい
騒音	30件	宗教の音楽などがうるさい 交通量が増え、騒音がひどくなった 救急車・消防車・パトカーのサイレンの音量が大きい

区 分	件 数	主 な 意 見
緑・オープンスペース	28件	緑が少なくなった
		公園が減った
		子どもの遊び場が少ない
		カラスが多い
各種施設	18件	保育園に空きがない
		銭湯がなくなり不便
		病院がなくなった
行政	11件	税金が高い
		福祉・介護サービスが悪い
住居	7件	家や部屋が狭い
		家賃が高い

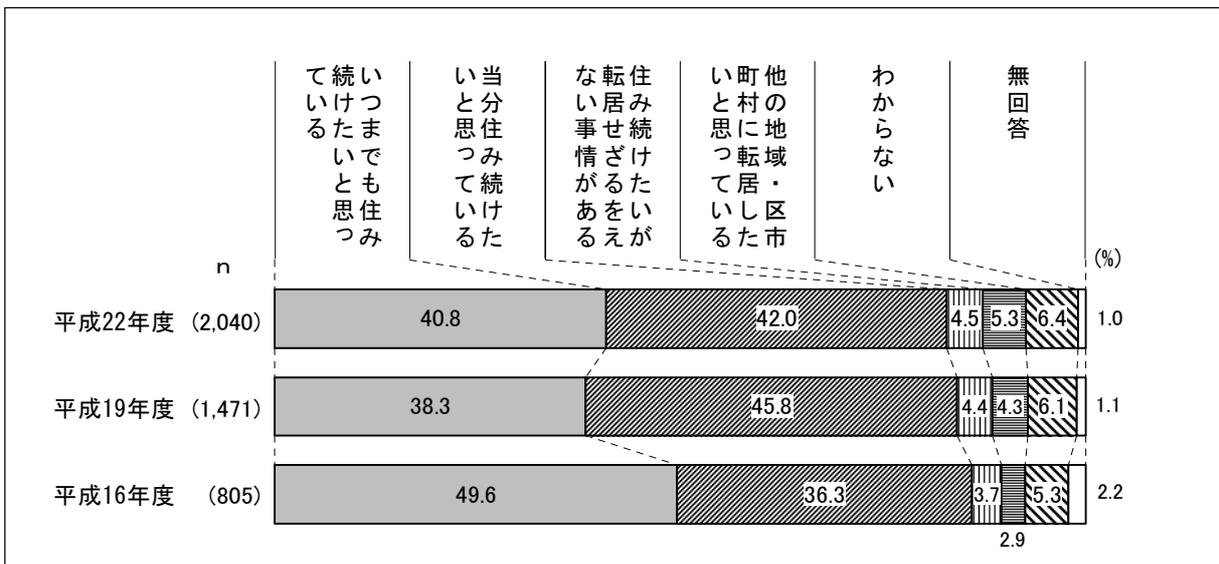
2 定住意向〔問2〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(42.0%)が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(40.8%)と合わせた“住み続けたい”(82.8%)としてみると、8割を超えている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.3%)、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.5%)はともに1割を下回っている。



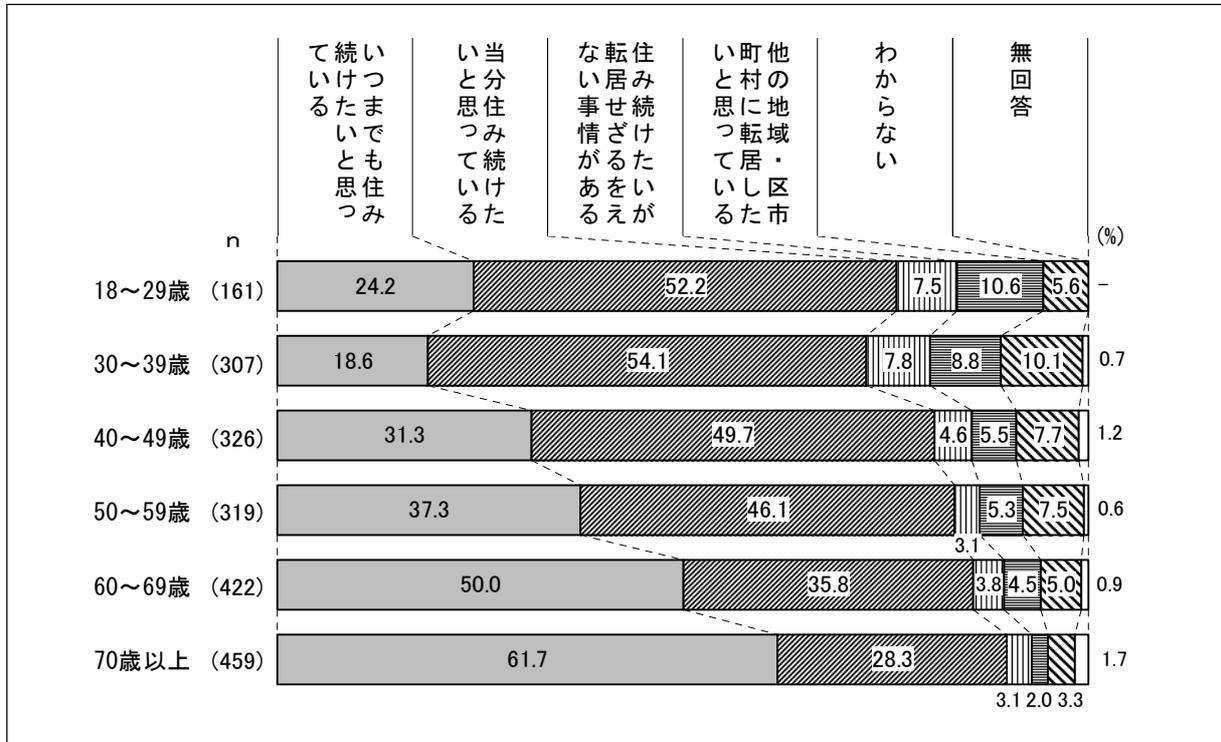
【経年比較】

- 平成19年度と比較すると大きな違いはみられないが、平成16年度と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は8.8ポイント減少する一方で、「当分住み続けたいと思っている」は5.7ポイント増加している。



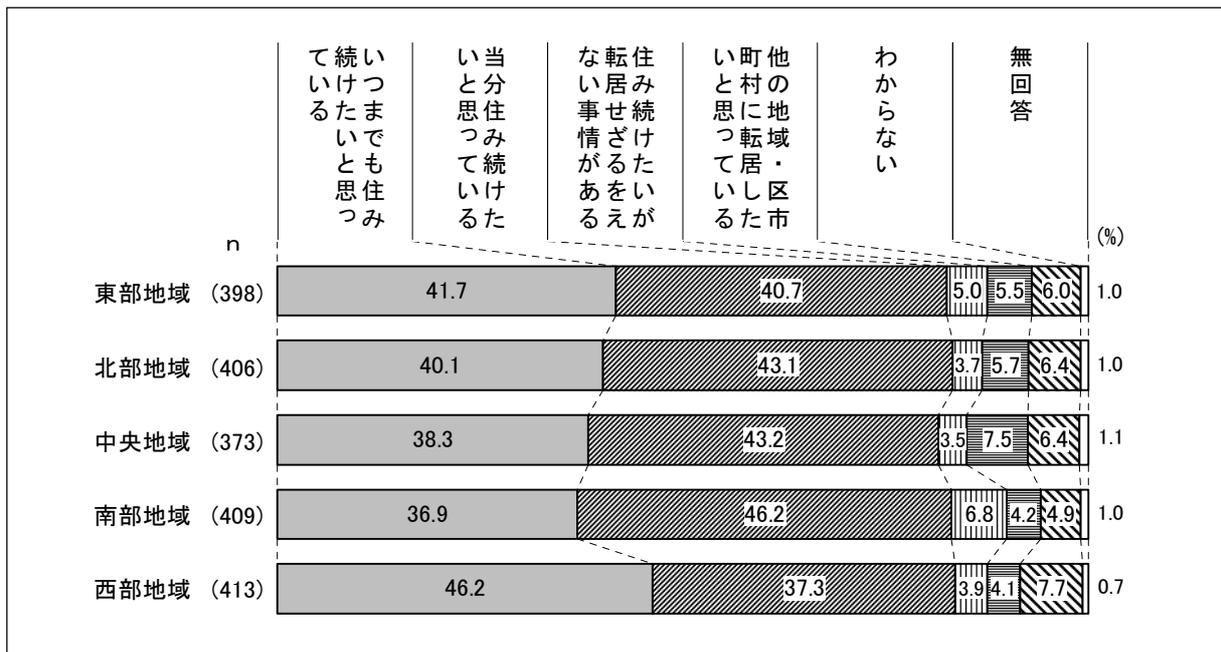
【年齢別】

- “住み続けたい”はおおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（90.0%）で9割となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」は18～29歳（10.6%）で1割となっている。



【地域別】

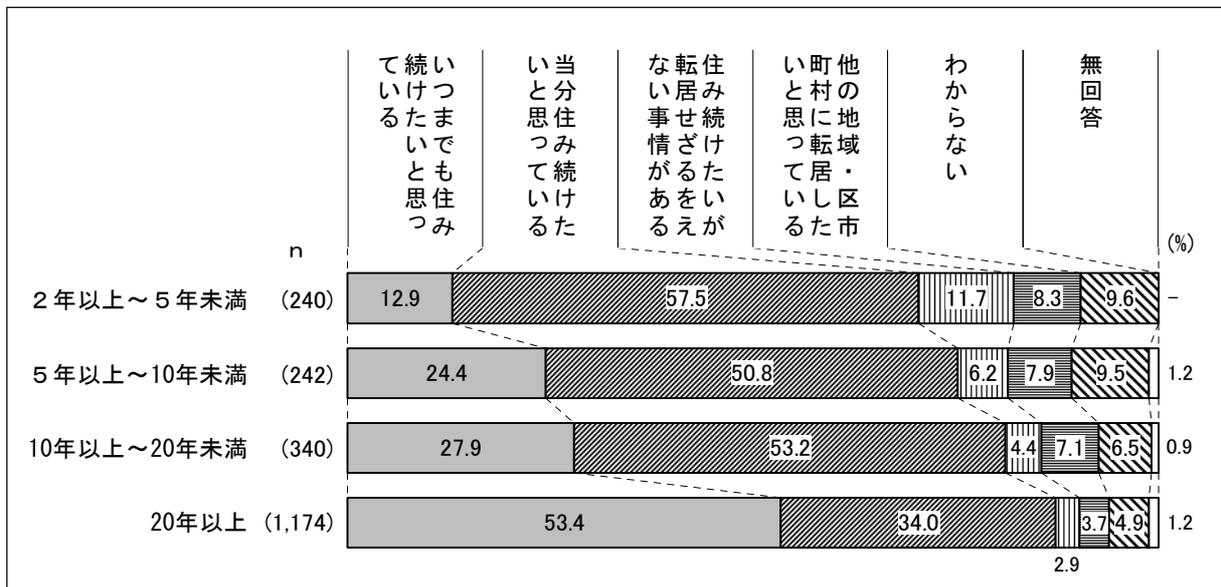
- 「いつまでも住み続けたいと思っている」は西部地域（46.2%）で4割台半ばとなっているが、“住み続けたい”としてみると、大きな違いはみられない。



※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照

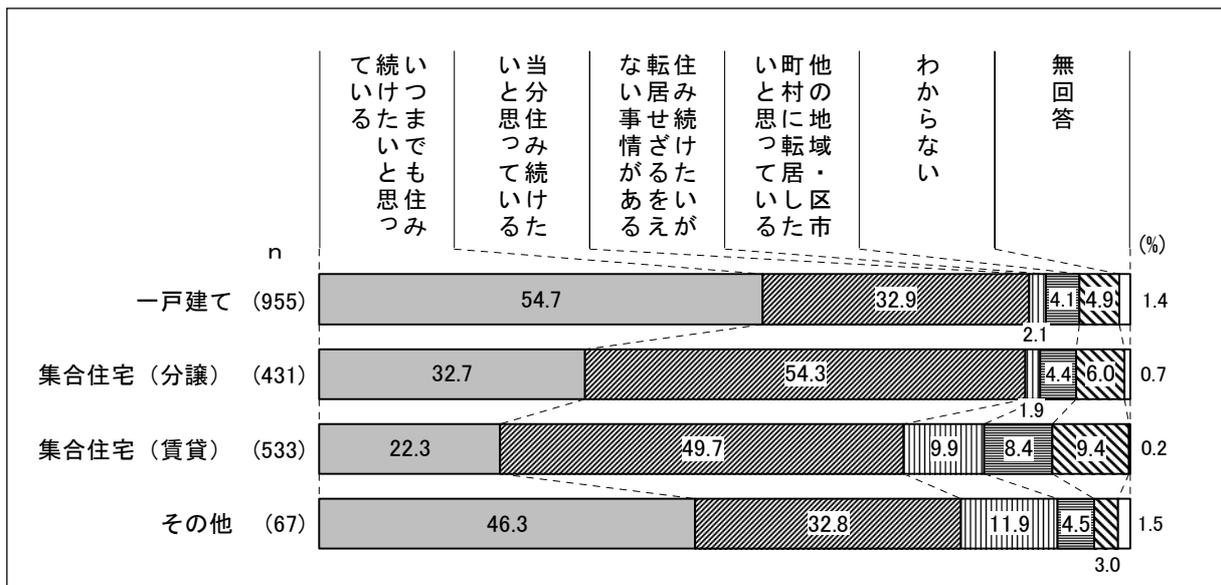
【居住年数別】

- “住み続けたい” は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（87.4%）で最も高くなっている。



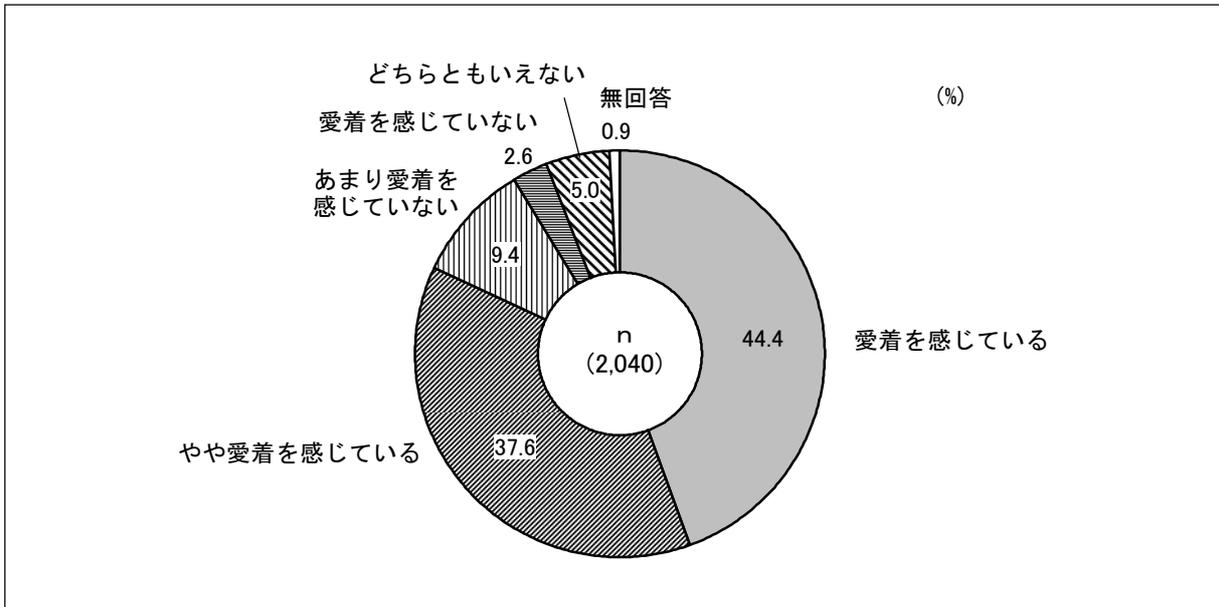
【住まい形態別】

- “住み続けたい” は一戸建て（87.6%）と集合住宅（分譲）（87.0%）でほぼ同じ割合で高くなっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」は集合住宅（賃貸）（8.4%）で約1割となっている。



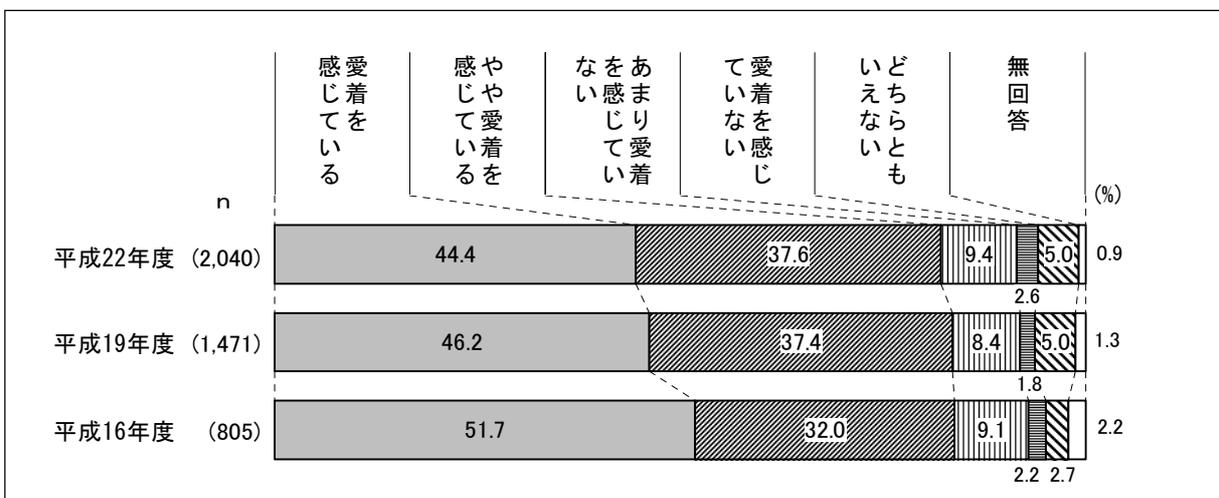
3 地域への愛着〔問3〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(44.4%)で4割台半ばと最も高く、「やや愛着を感じている」(37.6%)と合わせた“愛着を感じている”(82.0%)としてみると8割を超えている。
- 「あまり愛着を感じていない」(9.4%)と「愛着を感じていない」(2.6%)を合わせた“愛着を感じていない”(12.0%)としてみると、1割を超える程度となっている。



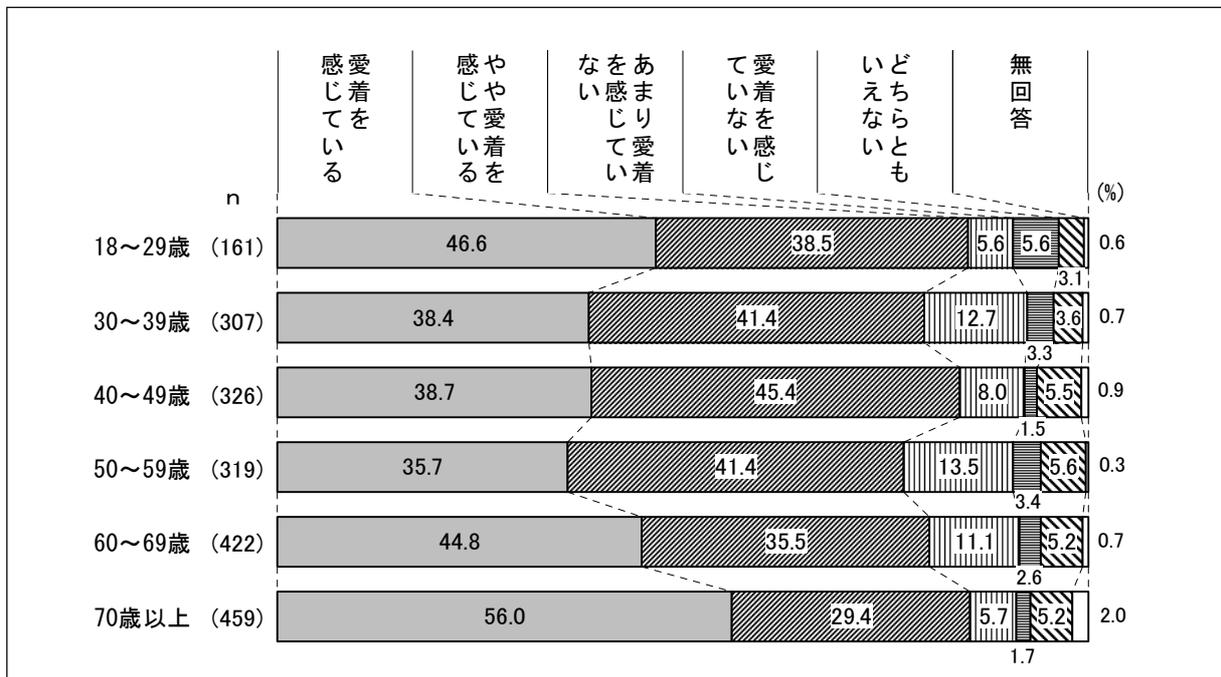
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」は平成16年度から7.3ポイント低くなっているが、“愛着を感じている”としてみると、大きな違いはみられない。



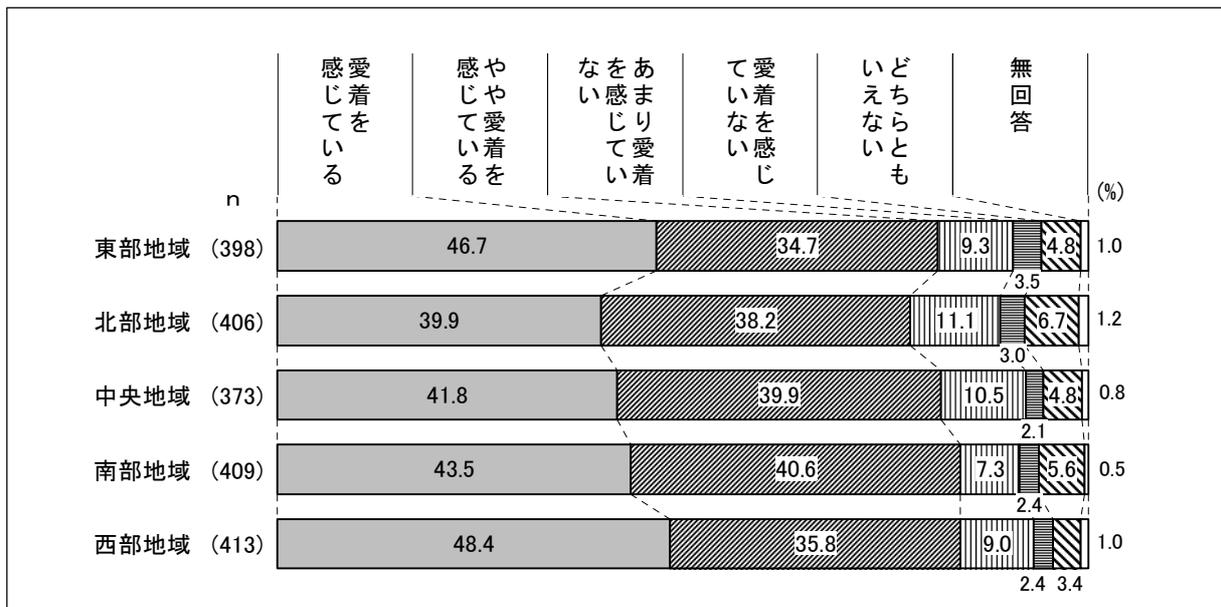
【年齢別】

- “愛着を感じている” は70歳以上（85.4%）と18～29歳（85.1%）、40～49歳（84.1%）で8割台半ばとなっている。



【地域別】

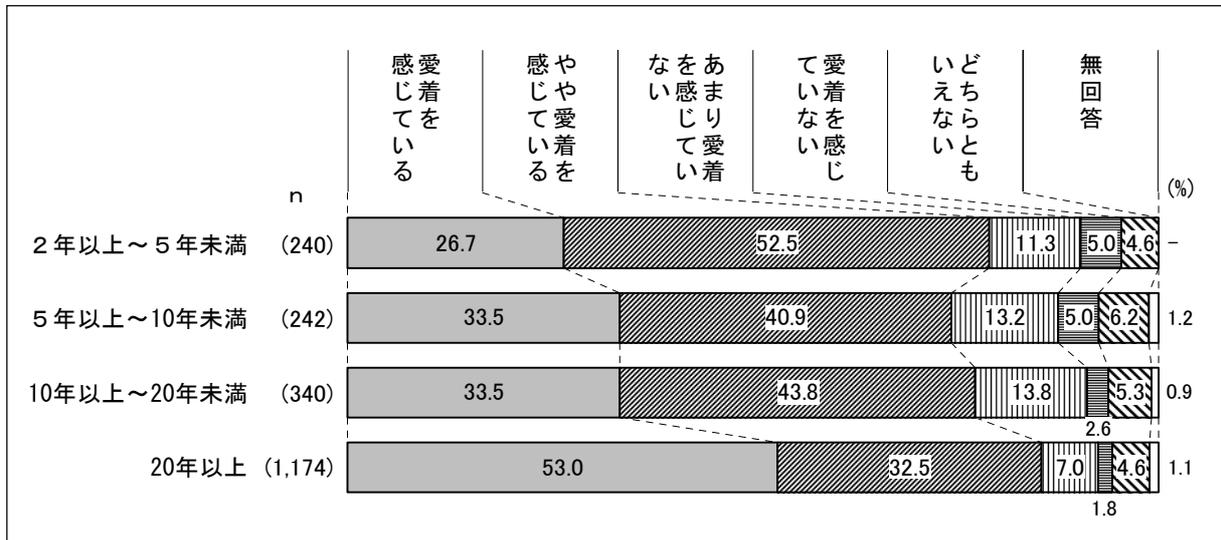
- “愛着を感じている” は西部地域（84.2%）と南部地域（84.1%）で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない” は北部地域（14.1%）で1割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照

【居住年数別】

- “愛着を感じている”は20年以上（85.5%）で8割台半ばと最も高くなっている。また、20年以上は唯一「愛着を感じている」（53.0%）が「やや愛着を感じている」（32.5%）よりも高くなっている。



【住まい形態別】

- “愛着を感じている”は一戸建て（84.4%）で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない”は集合住宅（分譲）（15.0%）と集合住宅（賃貸）（14.0%）で1割台半ばとなっている。

